令和３年度　新田小学校　学校教育目標・学校経営基本方針

関係法規
県・市の基本方針

【校訓】
奉仕　　探究　　健康

【学校教育目標】
豊かな心を持ち，主体的に学ぶ
心身共にたくましい児童の育成

社会の願い
児童の実態
地域の特性

【めざす児童像】

やさしい子	かしこい子	たくましい子
○自然やものを大切にし，友達と励まし合って仲良く生活する子 ○あいさつや返事がきちんとでき，思いやりの心を持って誰とでも協力する子	○計画的に学習し，多様な見方や考え方ができる子 ○進んで学習し，友達と一緒に学び，最後まで考え抜く子	○健康安全に注意し，進んで体を鍛え，何事にも粘り強く取り組む子 ○好き嫌い無く食べ，安全に気をつけながら進んで運動する子

【めざす教師像】	**【めざす学校像】**
○子供を愛しみ，共に学び育つ教師 ○同僚性にあふれた教師（共通理解・共通行動・補完行動） ○教科・領域等の専門的知識を深め，指導力の向上に努める教師	○安心して生活ができ，一人一人の子供の居場所がある学校 ○花と緑にあふれ，あいさつと歌声が響く学校 ○地域と共に創る開かれた学校

【学校経営基本方針】

豊かな心の育成	基礎学力の定着	健康・体力の維持向上
地域人材の効果的な参画を促進すると共に，異年齢集団での協働学習や体験学習を通して，社会性を涵養する ①規則正しい生活習慣の確立 ・小中合同での規則正しい生活習慣づくりへの取組 ②あいさつ運動の推進 ③体験活動や実践活動の充実 ・幼児等と触れあう体験，生命の尊さを感じる体験，集団宿泊活動，奉仕体験活動等 ④家庭や地域との連携 ・生活習慣や礼儀，マナーを身に付けるための取組などが家庭や地域社会において積極的に行われるようにその促進を図る。 ⑤発達段階に応じた情報モラルの指導 ⑥先人の伝記，自然など児童が感動する魅力的な教材の充実	**小中教員が共通の研究テーマで，校内研究を推進し，相互に授業を見合い，検討しながら指導力を高める。** **ＩＣＴ機器の活用や乗り入れ授業等からきめ細かな指導・支援を行い，児童の学力向上を図る。** ①基礎的・基本的な知識・技能の習得 ・「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能を発達段階に応じて習得させる。 ②思考力・判断力・表現力等の育成 ・観察・実験，探究的な活動から気付き，考え，深め，広げる学習活動を充実させる。 ③言語活動の充実 ・国語をはじめ各教科等において，知識・技能を身に付け，学習のまとめを通して，思考力・判断力，表現力を高める指導を行う。 ・学校及び家庭における読書活動の推進 ④外国語教育の充実 ・「聞くこと」「話すこと」から「読むこと」「書くこと」を段階的にバランス良く指導する。 ・ＡＬＴと連携し，コミュニケーションを高める授業の充実 ⑤伝統や文化に関する教育の充実 ⑥系統的な学習の充実 ⑦家庭学習の習慣の確立	**児童の運動の機会を増やし，食生活の改善やメディアに依存しない生活を意識させ，心身共に健康な生活を営む力を育成する。** ①食育の推進 ・学校給食を活用し，関連する教科等を含めた食の指導の充実 ・地域人材の積極的な活用と地域の産物の活用や郷土の食文化の伝承 ・肥満傾向，食物アレルギー，偏食など個別的な相談指導の充実 ②継続的な体力づくり ・競技会や学校行事・地域行事に向けた組織的・計画的な体力づくりの推進 ③地域に根ざした防災教育の推進 ・学校及び地域の状況を踏まえ，地域住民や保護者，関係機関と連携した防災計画の策定 ・小中，地域，関係機関と連携した協働による総合防災訓練の実施

志教育の推進

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
①様々な人とのかかわりを通して，自己理解や他者理解を深化させる。 ②集団や組織の中で，よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。	①学校で学ぶ知識と，社会や職業との関連を実感させる。 ②社会において役割を果たす人間として，自らの在り方生き方について主体的に探求させる。	①集団や組織の中で，自分の果たすべき役割を認識させる。 ②自己の役割を果たすことによって自己肯定感や自己有用感を高める。

推進の基盤

小中連携教育の推進
（新田スタンダード）

地域社会と連携した学校づくり
（小中コミュニティスクール）